

秋期講座・オープンカレッジ (対面/オンライン) のご案内

「ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを素直に受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となつてはいけません。」
ヤコブの手紙1章21～22節 (新改訳2017)

主の聖名を賛美できる者とされたことを主なる神に感謝いたします

9月中旬を過ぎても、まだまだ暑い日々が続きます。「もう秋ですね!」という声を聴きたい今日この頃です。しかし、この特別講座が持たれる10月下旬には、秋の深まりを覚えるころと思います。今年4月に入学された兄弟も神学生として様々な体験と学びをしております。神学生の学びと奉仕は、諸教会のお祈り、ご支援、ご協力のもと落ち着いた神学校生活を送ることができております。

さて、きたる10月31日(火)～11月3日(金)に、秋期講座とオープンカレッジを開講いたします。今年は、昨年よりは制限を緩和した開講となっておりますが、感染症対策はいたしますので、ご協力のほどお願いいたします。

神学校の働きは、「みことばから出て、みことばに規制され、みことばによって視野を広げ、みことばに帰る」そんな信仰の指導者であり、主にお仕えする人材を養い育てるところと心得ております。教役者を始め、兄弟姉妹方には、時間的・金銭的な犠牲を払って頂くこととなりますが、多くの皆様にご参加いただくことを願っております。

2023年9月28日

日本バプテスト聖書神学校

校長 斎藤 秀文



記

*日時：2023年10月31日(火)～11月3日(金) (4日間)

*会場：日本バプテスト聖書神学校講堂

*開講講座：

秋期講座 10/31(火)～11/1(水)

講義内容：「次世代を育てる教会教育」

講師：鹿毛愛喜師(港北ニュータウン聖書バプテスト教会)

オープンカレッジ 11/2(木)～11/3(金)

講義内容：「神の創造と科学」

講師：白井清之師(希望の丘聖書バプテスト教会)

(2講座の内容は別紙をご覧ください)

講義内容

秋期講座 「次世代を育てる教会教育」

鹿毛愛喜

教会がコロナ禍を通過し、教会が大きな変化の時期を迎えています。教会はこの変化に動揺しないで、踏みとどまろうとしてきたのかもしれませんが。しかし、一方でどれほど私たちはこの変化の時期をとらえ、変えられてきたでしょうか。

昨今、教勢の停滞、献身者の減少、牧師の高齢化、若い牧師の疲弊、無牧化、教会閉鎖など、教会は深刻な事態に立たされています。今、教会は「私たちはこれからも神の言葉に立っていけば良いのだ」と叫ぶことではなく、「私たちは次の世代と共にこの時代において神の言葉に立ってどう生きるのか」が問われているのではないのでしょうか。

私たちは教会がこれからも教会の働きを継続していくために、今福音の恵みによって活力をもって教会を形成するために、教会が一刻も早く次世代に目を向けることが大きな鍵です。今回、秋季講座において「次世代を育てる教会教育」という切り口から、ご一緒にこれからの教会形成、次世代の育成、日本宣教を見つめていきたいと思えます。

①「次世代を育てられない教会形成（問題提起）」

かつては教会にも若者が溢れていた。現在、牧師の高齢化、教会の高齢化は顕著である。教会に次世代がないわけではない。しかし、どうして次世代を獲得し、育てることができないのか。私たちは頻りに立ち止まって自教会の教会形成を見直さなければならない。

②「次世代に継承されるべき福音」

教会は骨を折って、神の言葉を語り、福音を語り続けている。しかし、福音が福音として次世代に届いているのかということは問わなければならない。新しい福音が必要なのではない。福音は世代を超えて救いを与え、次世代を変革する神の力であることを再認識する。

③「教会形成における全体像」

教会は特定の年齢層に偏った教会形成に陥りやすい。常に牧師の世代が多いという傾向がある。これは牧師に偏った教会形成がなされている証拠ではないだろうか。教会を形成するとは牧師による務めではなく、教会全体による有機的な活動であることを確認する。

④「次世代を育てる教会教育（I）次世代と共に、次世代が生きる」

教会が次世代に対する苦手意識を持っている。「教会に若者が来てもつまらないだろう」「どうせ継続して定着することはないだろう」と高を括っている。教会が次世代と共に生きるとはどういうことか、次世代が生きる教会教育を考える。